

科目名	美術Ⅱ	単位数	2単位	実施予定授業数	70時間 (単位数×35)
-----	-----	-----	-----	---------	---------------

☆学習の到達目標

学習の到達目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。美に関する関心を高め、作品の美しさを感じ取る力や表現する力をつけ、創造する喜びを味わう。 「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の向上を図る。
使用教科書・副教材等	「美術Ⅱ」(光村図書) 透明水彩絵の具、ランプライト紙、アクリル絵具、筆、MDF材、和紙、ケント紙、タブレット機器、軽量紙粘土など

☆学習計画および評価方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	技能の観察と知識の理解度(教科書から美術の基礎を学び、制作を通して理解を深める。) スケッチ、下図(知識・技能) 本作品(知識・技能) 作品を期限までに仕上げ、提出する。必要な資料、材料等の準備は積極的に行う。授業後の片づけ、物品の管理に努める。(40%)	レポート(思考・判断・表現) 鑑賞時には自分の思考や感じ方を積極的に述べるよう努める。幅広く美術に関心をもち、感性を働かせて、美しく創造的な表現や材料・用具を生かす判断や表現をする。思考・判断・表現の向上のため、自然や人間、文化などの理解等に努める。(30%)	主体的に学習に取り組む態度 出欠席の記録 観察の記録 ①統率・指導力「何を理解しているか、何ができるか」 ②意欲・関心・積極性「理解していること、できることをどう使うか」 ③態度・姿勢「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」(30%)

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数
第1学期	オリエンテーション	4	オリエンテーション ・年間の授業の進め方、学習方法を説明する	28時間
	人物写真を使った作品 ～透明水彩絵具使って～	5	人物写真を使った水彩画 ・人物写真のトレースを使い、下絵を制作し、水彩技法の特徴を理解しながら人物画制作を行う。基本的な描写力を養い、対象の見方、捉え方、表し方が作品制作で出来ている。	
	造形工作 ～アイデアを形に～	6	造形工作 ・スタイロフォーム、石粉粘土を用いながら、自分の想像する架空の生き物を立体作品で表す。基本的な造形力を養い、対象の見方、捉え方、表し方が作品制作で出来ている。	
	【知識・技能】 ○課題作品(80%) ○課題・授業プリント(20%)			
	【思考・判断・表現】 ○課題作品(80%) ○実習・制作レポート(20%)			
【主体的に学習に取り組む態度】 ○課題作品(50%) ○生徒による自己評価プリント(50%)				
【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し各観点を40%:30%:30%の割合で総括し、10段階評定とする。				
学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数

第2学期	造形工作 ～アイデアを形に～	7	造形工作 ・スタイロフォーム、石粉粘土を用いながら、自分の想像する架空の生き物を立体作品で表す。基本的な造形力を養い、対象の見方、捉え方、表し方が作品制作で出来ている。	30時間
	絵本製作 ～メッセージを伝える～	8		
		9	絵本製作 ・今まで制作で学んできた色面構成、レタリング、イラストレーションなどを使い、オリジナル絵本を制作する。製本も自分で行う。	
	なりきりango ～魅力あるプレゼン～	10		
		11	紙芝居プレゼンテーション ・一人の作家を調べて、紙芝居形式を用いたプレゼンテーションを行う。	
【知識・技能】 ○課題作品 (80%) ○課題・授業プリント (20%)				
【思考・判断・表現】 ○課題作品 (80%) ○実習・制作レポート (20%)				
【主体的に学習に取り組む態度】 ○課題作品 (50%) ○課題・授業プリント (50%)				
【2学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し各観点を40% : 30% : 30%の割合で総括し、10段階評定とする。				
学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数
第3学期	なりきりango ～魅力あるプレゼン～	12	紙芝居プレゼンテーション ・一人の作家を調べて、紙芝居形式を用いたプレゼンテーションを行う。	12時間
		1		
	鑑賞	2	鑑賞 ・様々な作品鑑賞を行いながら、自己の鑑賞力、感性を深めることができる。鑑賞をもとにしたレポートの制作。	
	【知識・技能】 ○課題作品 (80%) ○課題・授業プリント (20%)			
【思考・判断・表現】 ○課題作品 (80%) ○実習・制作レポート (20%)				
【主体的に学習に取り組む態度】 ○課題作品 (50%) ○課題・授業プリント (50%)				
【3学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し各観点を40% : 30% : 30%の割合で総括し、10段階評定とする。				
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ総括し、年間の5段階評価とする。				